

福  
祉

社  
会

ソ  
シ  
アル  
ワ  
ー  
カ  
ー  
ラ  
ボ  
ー  
ル  
ド

SOCIAL  
WORKERS  
LAB

## SOCIAL WORKERS TALK 2020

若者大歓迎、参加費無料、オンライン開催

Vol.1

### まちづくりと福祉

2021年1月16日(土) 14時～16時

【ゲスト】

岡山泰士 一級建築士事務所 STUDIO MONAKA 共同代表

田中元子 株式会社グランドレベル 代表取締役社長

紅谷浩之 医療法人社団オレンジ 理事長

の  
福  
祉

周  
辺

Vol.2

### 福祉を超える

2021年2月13日(土) 14時～16時

【ゲスト】

大原裕介 社会福祉法人 ゆうゆう 理事長／北海道医療大学客員教授

村木厚子 津田塾大学客員教授／元厚生労働事務次官

湯浅誠 社会活動家／東京大学先端科学技術研究センター特任教授

の  
福  
祉

Vol.3

### 家族と福祉

2021年3月6日(土) 14時～16時

【ゲスト】

石山アンジュ 社会活動家／拡張家族 Cift 代表

岸田奈美 作家

の  
福  
祉

あなたは「ソーシャルワーカー」を知っていますか？

SOCIAL WORKERS LAB は、ソーシャルワーカーという概念を介し、多様な人々が出会い、関わり、学び合う社会実験プロジェクト。

2年目となる今回のテーマは「福祉の周辺」。

「福祉の周辺」とも呼べるような位置に立って活動しているゲストたちが、まちづくり、建築、デザイン、家族、シェアなど多様な観点から「福祉」と「福祉外」という線引きを問い合わせなおします。

# SOCIAL WORKERS TALK 2020

若者大歓迎、参加費無料、オンライン開催

## Vol.1 まちづくりと福祉

2021年1月16日(土) 14時~16時

東京都墨田区の喫茶店「喫茶ランドリー」。長野県軽井沢の診療所「ほっちのロッヂ」。滋賀県大津の交流拠点「HOURAI SHARE FARM」。そこでは多様な人びとが集まり、日々新たな関係が生まれている。その関係の多様さや豊かさが、プライベートとパブリックのあいだを生み出したり、人が自分らしく幸せに暮らせる地域をつくることにつながるのかもしれない。先駆的挑戦者が語る、まちづくり、建築、デザイン、そして福祉の境界線を溶かすクロストーク。

Vol.1のお申し込みはこちら →  
<https://swtalk2020-1.peatix.com>



## Vol.1 ゲスト



岡山泰士 一級建築士事務所 STUDIOOMONAKA 共同代表

1987年生まれ。京都・沖縄を拠点にして、人びとの日々の営みの背景となる建築・空間づくりを手がけ、町家再生、住宅、エリアリノベーション、企業プランディングなど多種多様なプロジェクトを推進。自らが暮らす滋賀県大津市では、地域団体シガーシガの共同代表として、福祉施設に隣接する耕作放棄地を開墾して地域交流拠点 HOURAI SHARE FARM を企画運営。二児の父。



田中元子 株式会社グランドレベル代表取締役社長

ライター・建築コミュニケーターとして活躍後、「1階づくりはまちづくり」をモットーに株式会社グランドレベルを設立。エリア価値と住民幸福度の向上に取り組む。2018年、東京都墨田区に洗濯機やミシン・アイロンなどを備えた、まちの家事室付きの喫茶店「喫茶ランドリー」をオープン。属性を問わず、多様な住民が能動的に集まる公共空間のモデルとして注目を集めます。



紅谷浩之 医療法人オレンジ理事長

福井医科大学卒業後、救急・総合診療を中心に研修し、地域の診療所にて在宅医療・地域診療を学ぶ。2011年、福井県内初の複数医師による在宅医療専門クリニックを開設。住み慣れた場所で自分らしく幸せに生きていくことを支えるため、地域づくり・まちづくりにも取り組む。2020年春、新たな挑戦として長野県軽井沢町に診療所「ほっちのロッヂ」を開設。

## Vol.2 福祉を超える

2021年2月13日(土) 14時~16時

福祉とは「ふだんの、暮らしの、幸せ」。ノーマルで当たり前の暮らしは、誰にとっての権利でもあり、人間誰もが一人では生きていくことができないはず。しかし今、社会保障費増の限界、超高齢化・人口減少、自然災害、ウィズコロナなど、私たちができる社会は厳しさを増しているように思える。この国の福祉はこれからどうなっていくのか。私たちはいかに生きていくのか。日本の福祉政策に関わってきた3人の福祉実践家がこれからの福祉を問い合わせ、語ります。

Vol.2のお申し込みはこちら →  
<https://swtalk2020-2.peatix.com>



## Vol.2 ゲスト



大原裕介 社会福祉法人ゆうゆう理事長／北海道医療大学客員教授

北海道医療大学在学中にボランティアセンターを設立し、2007年にゆうゆうの前身となるNPO法人を創立。障がい者福祉から始まった活動をコミュニティ・レストラン、共生型のまちづくり、アール・プリュット、農福連携など多方面に展開。NPO法人全国地域生活支援ネットワークの代表として政策立案・提言にも関わる。一般社団法人 FACE to FUKUSHI 共同代表。



村木厚子 津田塾大学客員教授／元厚生労働事務次官

高知県生まれ。1978年労働省（現厚生労働省）入省。女性政策、障がい者政策などに携わる。2013年から2015年まで厚生労働事務次官、退官後は津田塾大学客員教授のほか、伊藤忠商事の社外取締役などを務める。累犯犯障がい者を支援する共生社会をつくる愛の基金や、生きづらさを抱える若年女性を支援する若草プロジェクトの活動にも従事。



湯浅誠 社会活動家／東京大学先端科学技術研究センター特任教授

東京大学卒業後、1990年代よりホームレス支援に従事。2009年からの3年間、内閣府参与に就任し、内閣官房社会の包摶推進室長、震災ボランティア連携室長などを務める。日本社会を前に進めるためには、官民協働とともに民主主義の成熟が不可欠と痛感。「『なんとかする』子どもの貧困」「ヒーローを待っていても世界は変わらない」など著書多数。

## Vol.3 家族と福祉

2021年3月6日(土) 14時~16時

家族。あまりに身近な存在で身近な言葉だけど、実のところ、家族ってよくわからない。私たちは不思議な縁で出会う。まるでどこかで仕組まれていたかのような奇跡的な偶然で。そして、私たちは誰かとともに生きる。その誰かの存在にイラついたり傷ついたりしながらも、その関係に安心したり、救われたり、背中を押してくれることもある。いったい、家族ってなんなんだろう。「家族」を大切にしながら全力疾走している2人から、自然な言葉を聞いてみたい。

Vol.3のお申し込みはこちら →  
<https://swtalk2020-3.peatix.com>



本イベントへのご参加は、Peatixからお申し込みください。

※アカウントをお持ちでない方も、facebookやtwitter、googleのアカウントで簡単に登録できます。

2021年3月13日(土)、14日(日)

## SOCIAL MEETing 2020 開催決定!

これまでの枠組みを飛び越えて、「福祉の周辺」へとチャレンジする先駆的な福祉法人との出会いの場です。就職に限らず、現地視察ツアーや短期体験、長期インターンのほか、法人との関わり方は様々。きっと大切な仲間にも出会えるはず。

詳細はこちら  
↓



石山アンジュ 社会活動家／拠張家族 Cift 代表

1989年生まれ。シェアの思想を通じた新しいライフスタイル提案を行い、一般社団法人シェアリングエコノミー協会事務局長ほか、政府委員を多数務める。2018年にミレニアル世代のシンクタンクを設立し代表を務めるほか、NewsPicks「WEEKLY OCHIAI」のコメントーター、「拠張家族」という新たな家族観を掲げて100人もの家族との生活実験を行なうなど、幅広く活動を展開。



岸田奈美 作家

1991年生まれ。関西学院大学在学中に株式会社ミライロの創業メンバーとして加入。10年にわたり広報部長を務めたのち、作家として独立。世界経済フォーラム（ダボス会議）グローバルシェイバーズ、Forbes「30 UNDER 30 JAPAN 2020」選出。2020年9月、初の自著「家族だから愛したんじゃないくて、愛したのが家族だった」を発売。愛とユーモアのある言葉にファン続出。